

猪風来・黒潮の海展

—女神たちの抱く海の物語—



■海は地球の羊水。生命のゆりかごのごとく満ち、万物の生命を運ぶ豊饒の流れとなる。魚が群れなす珊瑚を育み、季節を運んで春を告げる。1996年～1999年にかけて沖縄をテーマにした作品を手がけた猪風来は、沖縄の古層から続く「女の祭」の中に、自然と一体になり豊饒を祈る女の精神世界を見だし感銘を受けた。「竜宮ニガイ」（海鎮め）という祭では女たちが司を中心にして海に向かって神詞を唱い、海をあやし、海を抱き、豊漁と男たちの無事を祈る。海は人々に恵みをもたらし、命を運ぶ大きな黒潮となって巡る。

平成24年 9/4[火]～11/30[金]

【開館時間】 午前9:30～午後5:00
【休館日】 月曜日(休日の場合その翌日)
【観覧料】 一般400円 高校生200円
【アクセス】

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

日本最大の縄文土器制作など、縄文野焼き技法の第一人者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。

猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。



新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

海をまるごと創るという途方もない挑戦。猪風来は、このあたたかな豊饒の海「黒潮の海」の優しさやだらかさ、また激しさを縄文造形し、10メートルを超える巨大作品を創作。細部の縄文文様の美しさと大きくうねり渦巻いていく全体のダイナミックな造形、そして自然を抱こうとする女神たちの醸し出す壮大なドラマが表現された縄文野焼き作品15点を展示。ぜひご高覧ください。

